

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	継続	事務事業名称	007 観光農園推進対策事業				
担当部	040000 経済部		課・室	040101 農政課	所属長名	大城光則	

(1) 基本情報

事業概要	基本目標	006 働きのつながるまち(産業)	施策	002 農業の振興
	事務事業期間	平成30年度～令和02年度	会計種別	01 一般会計
	経費の性質	5 政策的経費	実施計画対象	1:対象
	実施方法	業務委託又は指定管理	実施根拠 (法令や条例等)	
	目的	○観光農園施設の修繕費及び電気料金 ○観光農園施設保険料 ○観光農園施設管理委託		
	対象	○観光農園施設 ○市民、市内外観光客		
要	活動内容	○指定管理 ○老朽化箇所等の修繕 ○施設電気料金支払 ○市有物件保険料支払		
	意図(成果)	○観光農園施設の維持管理 ○観光農園施設有効活用		

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費		千円	22,719	20,624	73,177	0	0
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	18,224	7,950	0	0	0
	一般財源	千円	4,495	12,674	73,177	0	0

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標			この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
施設の修繕	施設	施設の維持管理を目的としているため	来場者数	人	観光施設となっており集客人員が多ければ良しとなるため

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	施設の修繕	施設	計画値	5	5	5	5	0
			実績値	12	4	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	来場者数	人	計画値	50,000	50,000	50,000	50,000	0
			実績値	64,454	32,982	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			計画値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0

妥当性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 第5次糸満市総合計画 第5章 政策2.4 (1) 農業の振興_観光農園の活性化の推進
	②行政が関与する妥当性	● 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ○ 国、県、市の協調によるもの ○ 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分のため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 市が所有する施設のため行政による関与が必要

必要性	③市民ニーズ	○ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ○ 市民ニーズが増加傾向にある ● 市民ニーズが現状維持の傾向にある ○ 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 農業と観光の連携による地域経済の活性化に資する目的で整備 冬の風物詩となっている「イルミネーション」については、開催などについて問い合わせがある
	④現時点での優先性や緊急性	● 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ○ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ○ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ○ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 補助により整備した施設で当初より困難な目標が掲げられている。現時点に於いても目的が達成できない状況にあり、国・県からは補助金の返還について視野にいれて検討するべきとの意見がある。また、未活用の施設があるため、使用条件などの緩和について国・県に相談し、施設の有効活用を図る必要がある

公平性	⑤受益者負担は適切か	○ 広く市民を対象としていることから適切である ● 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ○ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 施設管理を目的とし、管理者を指定し施設の維持管理を行っており、少額の修繕や自主事業については管理者負担となっている
-----	------------	---

効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているかどうか	○ かなり削減できている ○ ある程度削減できている ● あまり削減できない ○ 削減できない ○ 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 老朽化する施設の管理には限界があり、コストを削減するのは難しい
-----	------------------------------	---

有効性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	○ 目標を上回る ○ 目標を概ね達成している ○ 目標をやや下回る ● 目標を下回る ○ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や休業要請が行われたため、集客が見込めず目標達成することができなかった
-----	-----------------------	---

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ○ 適切 ● 見直す余地あり 3. 公平性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ● 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ● 適切 ○ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 ・適切3～4でB評価 ・適切1～2でC評価 ・全て見直しでD評価 B	A 現状どおり事業を進めることが妥当 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 □ 拡大・充実 □ 現状維持 ■ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要） 公募などで未活用施設の利用者を選定し、園全体を稼働させ集客を図る必要がある	